

授業科目 看護管理学	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	村上 眞須美		
担当者	村上 眞須美、上泉 和子 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標			
(ねらい) 看護管理学の基盤となる諸理論をふまえ、看護管理者あるいは高度実践看護師として看護サービスや看護システムを変革するための知識を学び、変革の能力を養う。			
(目標) ・看護管理学に関する諸理論を理解できる。 ・多職種との連携・協働および調整における看護管理者あるいは高度実践看護師の果たす役割について理解できる。 ・質改善・安全管理を目指した変革の計画を立案することができる。			
2. 授業計画・内容			
下記の内容について、講義、演習、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。			
第1・2回 (村上・上泉)	I. 看護管理学概論 (組織論) と APN のコア・コンピテンシー		
第3・4回 (上泉)	II. 看護政策論		
第5・6回 (村上)	III. 変革のマネジメント 1. 変革理論 2. 変革のための分析と変革計画		
第7・8回 (村上)	IV. リーダーシップ		
第9・10回 (上泉)	V. Quality Management 1. 質評価・改善の概要 2. アウトカムの評価 3. パフォーマンスの改善		
第11・12回 (村上)	VI. 安全管理とリスクマネジメント 1. 安全管理の概念 2. 病院等における安全管理・リスクマネジメントの実際 3. 看護管理 (者) と安全管理・リスクマネジメント		
第13回 (村上)	VII. 多職種との連携・協働および調整について 1. 連携・協働の現状と課題		
第14・15回 (村上・上泉)	プレゼンテーション、ディスカッション ・質改善・安全管理のための変革について		
3. 教科書、参考書			
Ann B. Hamric et.al/中村美鈴他監訳 (2017). 高度実践看護—統合的アプローチ. ヘルス出版. ISBN-10: 4892699284			
4. 成績評価方法			
レポート (70%)、プレゼンテーション (30%)			
5. 受講要件			
特になし。看護師の免許を有することが望ましい。			
6. 社会人学生に対する配慮			
夕方以降の時間帯に開講する。開講日は履修者にあわせて調整する。また、オンラインによる参加については相談すること。			
7. その他			
事前に担当教員と連絡を取り、課題等の指示を受けること。 オンデマンドは実施しない。			